

# 平成28年度

## 川の再生地域交流会 報告書



### ～川の再生地域交流会とは～

川の再生地域交流会は、川の再生活動現場の見学や活動事例の発表、意見交換などを通して川の再生活動団体同士の交流と情報共有を図るために開催しています。

交流会は、地元の団体の方々が企画し、自分達が活動している川の魅力や活動の成果を紹介するものです。また、県内各地から集まった参加者の交流を深める場でもあります。

今年度は、清瀬市・所沢市（柳瀬川・空堀川）、熊谷市（リーダー育成研修）、杉戸町（南側用水路）、日高市（高麗川）の4会場で開催しました。各会場の開催報告をまとめましたので御覧ください。

発行 埼玉県環境部水環境課

協力 埼玉県河川環境団体連絡協議会

## 目 次

### 1. 28年度川の再生地域交流会の概要

### 2. 川の再生地域交流会の報告

6月14日 …清瀬市・所沢市

6月24日 …熊谷市（リーダー育成研修）

7月 2日 …杉戸町

7月 9日 …日高市

### 3. 地域交流会を終えて

## 1. 28年度川の再生地域交流会の概要

開催場所	所沢市・清瀬市 (空堀川・柳瀬川)	熊谷市 (リーダー育成研修)
参加人数	37名	21名
日時	平成28年6月14日(火) 午前10時～午後4時	平成28年6月24日(金) 午後1時30分～午後4時
担当	川づくり・清瀬の会 担当者：宮澤 とよ美	唐沢川を愛する会 担当者：栗田 照正
集合	秋津駅(西武池袋線)北口 又は、新秋津駅(JR武蔵野線) 午前10時	熊谷市荒川公民館 研修室 午後1時30分
内容	○空堀川、柳瀬川見学 (徒歩2-3kmコース) ○交流会	○リーダー育成研修 ・事例発表 ・グループ討議
交流会会場	清瀬市 中里地域市民センター 住所：清瀬市中里 4-1301	熊谷市 荒川公民館 住所：熊谷市宮前町 1-24-1

開催場所	杉戸町 (南側用水路)	日高市 (高麗川)
参加人数	61名	21名
日時	平成28年7月2日(土) 午前10時～午後4時	平成28年7月9日(土) 午前10時～午後3時
担当	南側用水路清流プロジェクト 担当者：遠藤 清	埼玉県河川環境団体連絡協議会 担当者：山本 正史
集合	杉戸町 西公民館 午前10時	高麗公民館 午前10時
内容	○南側用水見学 (徒歩3kmコース) ○交流会	○高麗川(天神橋～高岡橋)見学 (徒歩2kmコース) ○交流会
交流会会場	杉戸町 西公民館 住所：杉戸町高野台西 3-3-1	日高市 高麗公民館 住所：日高市栗坪 92-2

平成 28 年度第 1 回 清瀬市 柳瀬川・空堀川新合流点工事 見学

川づくり・清瀬の会 宮澤とよ美

本来はこの見学会、平成 27 年 6 月 16 日に実行の予定で計画を進めました。

県庁で肥後氏と話し中、大石会長が現われ、あっさりと「まだ工事中の清瀬の見学は次年度に延期！」

「清瀬には他に皆様にご紹介したい素晴らしい工事例があります、そちらを…」と終わりまで話さないうちに大石氏は「よい工事例はいらない、問題があればその工事こそ見学をして学びたい。」

ともあれ中止ではなく、工事完了の 28 年 3 月以降として帰宅。

再度大石氏と Fax 交信の上、行政にはお声を掛けず、完成した工事を見た後、「自由に施工についての感想を話し合しましょう」ということになり、そこで次のようなタイムテーブルにて 1 日空堀川の河川環境を見学して頂きました。



◆当日の行程

見学実行日：6 月 7 日(火)

集合：1、池袋線秋津駅北口 10 時

2、JR 新秋津駅改札 10 時

空堀川梅坂橋親水階段前に 10：30 集結

埼玉連会長 大石昌男氏挨拶および当日の案内

担当者紹介；川づくり・清瀬の会 新座川爺の会

10：50 柳瀬川天然護岸と河畔林・分流箇所及び空堀川

合流箇所の見学（見学所要時間：約 500m を 1 時間 20 分）

12：30 清瀬中里地域センターに案内 昼食と休憩（会場に、当会麦茶を用意）

13：30 交流会開始（進行：川づくり・清瀬の会 金内担当）

交流会テーマ

1、参加者全員による自己紹介と柳瀬川・空堀川見学の感想

2、柳瀬川旧川の天然護岸と河畔林の保全について

3、望ましい河川構造について、今後の維持管理について

15：00 新合流点工事の経過を映像で振り返ります。

15：20 時間内最後の交流、

16：00 連絡事項及び閉会挨拶。



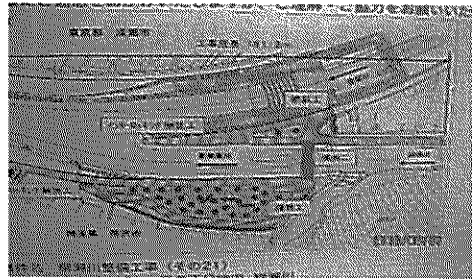
柳瀬川天然護岸と河畔林



柳瀬川・空堀川新合流点工事箇所

◆柳瀬川・空堀川新合流点工事のあらまし

柳瀬川の殆どの対岸は所沢市です。また上図のように大きく湾曲している箇所ほとんどが所沢市内で、左岸は流れがつくる天然護岸とエノキ・ムクノキを主体とする貴重な河畔林です。これまでは図面の左側で空堀川と合流していましたが、2014年の



工事完成予定図

完成予定で左の合流点より空堀川 500m 上流の柳瀬川と空堀川の一番近い所でショートカットして合流させる治水工事です。

本来ならば新合流点から下流の柳瀬川は廃河川となるのですが、皆様にご覧いただいたように、近隣でも希少な河川環境や景観です。当会は工事予定以前から市行政と共に所沢と川越県土に対しそのまま保存を願い出ました。2008年日常の流量そのままに天然護岸は残されることが決定。大きな成果です。

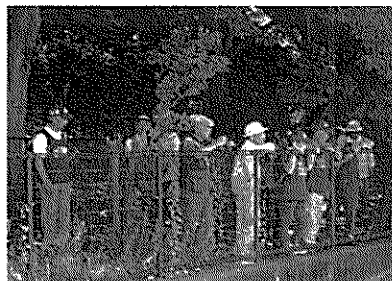
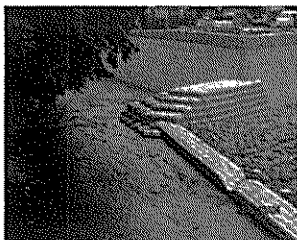
新合流河川(新柳瀬川と命名)は最初河川巾 24m の複断面でしたが、洪水分のみの流下であれば単断面で、河川巾を狭めその分植栽地を広げるよう要望、その結果河床巾 17m の単断面に決定。これも活動の成果でした。但し、旧川への流入口が極端に狭められましたので、対岸の天然護岸保存のために流入口を広げ流芯を現状通り右岸に沿わせ、淵や瀬の形状を求めました所、懇談会の最終日、「旧柳瀬川への適正最大流量を定めるために水理模型実験をしましょう」となり、実験に対して出された条件、最大流量：25 t/s 流速：1.8~2m/s 不等流計算 2 での水理模型実験結果が、形となって現れましたのが、皆様が見学された河川構造です。

2012年12月、工事完了の左岸にブルーシートをかけ埋め戻され、工事は中断。1年経て出てきた図面に、これまで計画にない18t対応の橋と狭い植栽予定地に4m巾管理通路2本が描かれていました。



埋め戻された新河川

午後の交流会では、この工事の多自然川づくりへの配慮について、予定時間一杯、活発な意見交換がなされました。清瀬市は自然豊かな街です、どうぞまたお出かけ下さいませ。



参加者：37名 県庁3名 計40名

# 川の再生地域交流会

唐沢川を愛する会 栗田 照正

日時 平成28年6月24日(金) 13時30分～16時  
場所 熊谷市荒川公民館 研修室  
内容 リーダー育成研修  
天候 小雨  
参加者 21名

## 交流会報告

梅雨時期雨がシトシト降る中、川の再生地域交流会第2回「リーダー育成研修」が熊谷市荒川公民館で開催された。

参加者は、ボランティア団体から17名、獨協大学学生2名、行政から2名 合計 21名の参加を頂きました。

1時半から開会し、先ず今回で2回目となる「リーダー育成研修」の開会に当たり大石埼河連代表から研修の主旨等の説明および挨拶がありました。

進行担当の栗田より、各団体共通の問題である高齢化による次の担い手のリーダーの必要性が急務となっており地域交流会を通じて育成していこうと企画した。

昨年度の議事録を参考に活発な意見交換、特に若い方の斬新な意見・要望等を取り入れてこれからの活動の核となって欲しい、期待しています。

今回のリーダー研修の必要性と討議内容の方向を説明した。

次に、所属団体、経験年数、名前等の自己紹介に移った。

事例発表は、熊環連の伊藤さんより荒川流域一斉水質調査について写真や掲示物を使って活動実態等の説明があった。

深谷の唐沢川を愛する会の栗田からは、人の交流を幅広く、繋がりを大切にすることによりスタッフが育っていった事例の説明があった。

グループ討議(14:00～15:30)

グループは、1グループ5名で4グループ分けした。

討議テーマは「たくさんの参加者を得るには、どんなイベントを企画すれば良いのか？」とした。また遂行にあたりイベントのテーマと狙い、参加対象者、PRの方法、スタッフの役割分担等を検討してもらった。

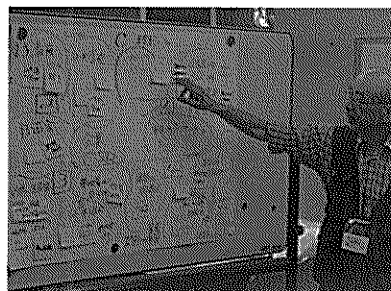
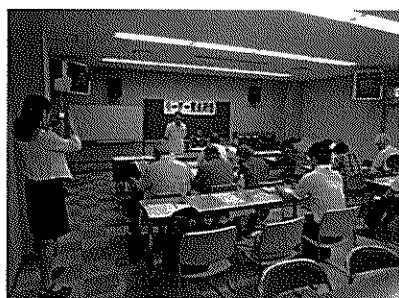
## グループ発表

Aグループ テーマ 川の生き物、生物を探そう・・・環境を知る、川辺の散歩、川の中で遊ぶ、食べる企画  
対象者 子供(学校で環境教育)父兄の参加、一般市民・・・バーベキュー(後片付け)

- PR 市の広報、ポスターおよびちらし・・・学校、公民館、自治会 メール配信  
 役割 行政との連絡、広報紙の作成、当日の司会、会計、救急、受付、講師の依頼
- Bグループ テーマ みんなの川の学校・・・ゴミの種類と処理場の見学、浄化槽の普及  
 対象者 地域の小中高等学校と大学、特に小学生を対象にすると父兄も参加  
 PR 市の広報、学校に掲示およびこども壁新聞に掲載  
 役割 役割分担をつくる、多くの人に関わってもらう、財源は、イオンの売上傳票
- Cグループ テーマ 川に親しんだ(生き物、生物等)企画、継続性、娯楽性・・・市民アンケートをとる  
 対象者 親子で参加、子供会を通して自治会(地域住民)の参加、企業CSR呼びかけ  
 PR 町内会回覧、市の広報、学校内ポスター掲示、  
 役割 フレキシブルな対応、行政へ相談、自治会へ相談、提案者がスタッフ・・・協力者
- Dグループ テーマ 川に親しむ・・・遊び場、バーベキュー、川下り、七夕流し、魚つかみ競争大会  
 対象者 親子参加、高齢者  
 PR 市の広報、回覧板と町内掲示板、SNSインターネット、口コミ  
 役割 川遊び・・・駐車係、見守り指導者、飲食準備係、行政届出。会長任せは絶対ダメ

#### 研修を修了して感じたこと

各グループも子供を対象とした川遊びが中心としたテーマとなっている。  
 学校の生徒の環境教育も必要と思うが、地域の自治体も巻き込んで草の根運動を展開して継続的な活動に繋げていきたいと考える。自治体を巻き込む為には、公民館、市役所の協力を仰ぐ必要があります。  
 今回の研修の目的は、テーマ設定でいかに参加した人達をリードして自分も楽しむ事ができるかということを検討することでした。  
 残念ながら、検討時間に限りがあり話し合いが充分ではなかったと感じ取れました。  
 また、テーマは「リーダー育成」より「スタッフの育成」としたほうが議論しやすいと思います。



## 川の再生地域交流会／南側用水路（杉戸町）

【開催日】平成28年7月2日（土）

南側用水路清流プロジェクト  
遠藤清

杉戸町を縦断する南側用水路は、江戸時代初期より350年以上に渡り農業用水路として地域の水田を潤してきましたが、28年前に灌漑用のパイプラインが敷設されたことで用水路としての役割を終えました。それまで用水路を管理していた流域の水田農家が水路の手入れをすることが無くなった為、南側用水路はまるでゴミ捨て場と化し、土砂が崩れ悪臭を放ちボウフラが大発生するなど地域問題となっていました。結果、用水路の大部分は暗渠化されてしまいましたが、人々の暮らしを支え続けてきた貴重な用水路を地域のシンボルとして再生するべく、秘めたる南側用水路の魅力に憧憬を持つ地域の有志により2013年に「南側用水路清流プロジェクト」が設立され、以来、行政・学校・企業等とも連携し月二回の水路の浚渫やゴミ拾いを行ってきた結果、水路の一部で28年振りに通水の復活に成功しました。

埼玉県内では、水路の再生や環境改善に取り組む様々な活動があり、そうした仲間との交流の場はとても大切であると思います。地域交流会を通じて私共の地域活動の理念及び手法を公表させて頂く機会はとても有難いものと考えてるに至り、この度の「川の再生地域交流会」を迎える事となりました。



—かつての南側用水路（2014年3月撮影）—





—現在の南側用水路（2016年撮影）—

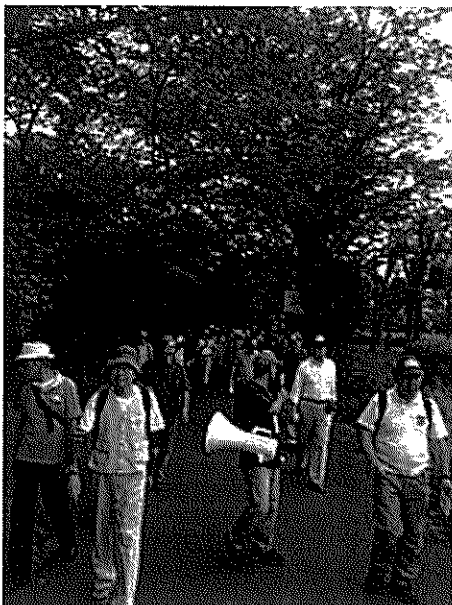
### 【プログラム】

午前の部<水路探検>

集合場所：西公民館（杉戸高野台駅西口より徒歩5分）

時間：受付/9時30分…出発10時00分…西公民館着12時00分

杉戸町による水路再生工事エリア見学の後、埼玉県の暗渠工事エリアを通り、南側用水路清流プロジェクトの木道エリアを見学していただきました。参加者は、小学生を含み60名ほどとなり、とても賑わいました。6年前に「がまツアーリズム」という南側用水路エリアのウォーキングイベントを始め、水路の魅力を発信し続けてきましたが、この度の交流会にも将来のキーマンとなる方々との沢山の出会いがありました。



—南側用水路へ向けて出発—

午後の部＜水路勉強会＞

13時00分～15時30分

- ・杉戸町役場からの報告「南側用水路の現状と将来」
- ・春日部農林振興センター齋藤副所長講演「冬水の話」
- ・南側用水路清流プロジェクト活動報告

午後には、南側用水路清流プロジェクトの取り組み発表の他に、「埼玉県春日部農林振興センター」の齋藤副所長より「用水路の冬水」につきましてのお話を頂きとても勉強になりました。杉戸町からは町としての南側用水路の取り組みの状況などお話しいただきました。長時間に渡り大変お疲れ様でした。



—午後の部もたくさんの参加を頂きました—

参加者は、埼玉県庁職員、杉戸町職員

埼玉県内で河川のボランティア活動をされている県民約30人  
地元住人約25人…合計約60人。

主催：埼玉県

後援：杉戸町

協力：埼玉県河川環境団体連絡協議会

案内人：南側用水路清流プロジェクト

<交流会が終わって>

交流会後、様々な反響がありました。交流会の様子を伝えた新聞記事で活動をお知りになられた小学校の校長先生を木道のご案内をさせて頂き、小学校との連携等のお話で盛り上がりました。他にも参加者からの口コミで、木道の見学のお申し込みをしばしば頂くようになりました。



—交流会の様子を伝える埼玉新聞の記事—

川の再生地域交流会に参加いただいた杉戸町立西小学校の4年生の生徒さんは、夏休みの自由研究で「みんなに広めたい・南側用水路の美しい自然」という発表をして下さいました。何枚にも渡る力作で、南側用水路に住む動植物の沢山のイラストや流域ごとの説明等がとても良く出来ており、とても説得力のある素晴らしいもので感動しました。最後のページにまとめとして「たくさんの自然が身近にあっておどろきました！！【南側用水路清流プロジェクト】によって、用水路が流れてきれいになるのが楽しみです。色々なボランティアがあっけきょうみをもちました」とありました。

また、他の小学校の生徒さんの中には、南側用水路や古利根川の水質の違いを調べてくれた小学生もいました。



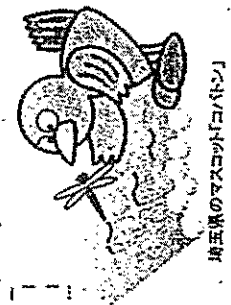
—夏休みの自由研究発表の様子—

この度の交流会により、少しずつ着実に地域の人々の関心が南側用水路に集まってきているものと思われます。不慣れなご案内にもかかわらず川の地域交流会にご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。県内で様々な活動する皆様方と連携し助け合い、今後更なる魅力的な地域作りの為に良い汗をかいていきたいと思っております。

# 集計・提出シート

## 五感による河川環境指標～川の好感度チェック～

・皆さんの結果を集めて、調査地点をどのように評価しているのか確認してみよう。  
 ・このシートを埼玉県水環境課までFAX (048-830-4773) でお送りください。県ホームページに掲載させて頂きます！



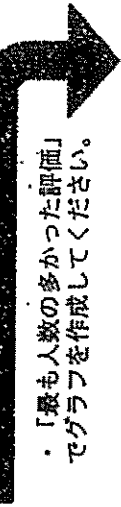
内容の確認をさせていただいた場合が  
ありますので、記入をお願いします。

記入者  
電話番号

調査団体名	川の山城地域女性会 (本川町)	調査年月	平成28年7月	調査人数	40人
調査対象 河川等	河川等名称 南俣り用水路 柳戸町南側用水路	調査地点*			

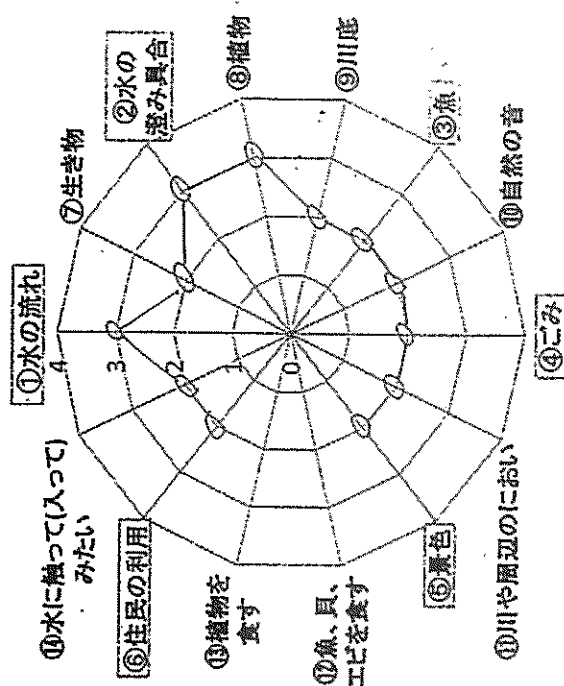
※ ○○市△△橋付近など、調査地点付近の情報を記載してください。

複数ある場合は、数字の大きい方を記入してください。  
 (例)「4」が1人、「3」が8人、「2」が8人、「1」が0人  
 →「3」と「2」が最も多いので、数字の大きい「3」を記入。



・「最も人数が多かった評価」でグラフを作成してください。  
 ・このグラフが「調査地点での団体の評価」です。

質問	「4」を選んだ人数	「3」を選んだ人数	「2」を選んだ人数	「1」を選んだ人数	最も人数が多かった評価
①水の流れ	6人	14人	13人	0人	3番
②水の澄み具合	0人	9人	1人	5人	3番
③魚	0人	3人	20人	14人	2番
④ごみ	0人	16人	22人	1人	2番
⑤景色	1人	14人	20人	5人	2番
⑥住民の利用	2人	2人	23人	13人	2番
⑦生き物	3人	9人	27人	0人	2番
⑧植物	12人	19人	8人	0人	3番
⑨川底	0人	2人	21人	8人	2番
⑩自然の音	2人	10人	21人	4人	2番
⑪川や周辺において	0人	9人	24人	4人	2番
⑫魚、貝、エビを食す	人	人	人	人	番
⑬植物を食す	人	人	人	人	番
⑭水に触ってみたい	1人	5人	23人	8人	2番



一言コメントをお願いします！

## 地域交流会高麗川（日高市）

埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼玉河連） 山本正史  
平成28年7月9日午前10時集合～午後3時まで

集合場所は日高市高麗公民館、午前10時に集合。朝から雨であったが、10時頃は小雨に。案内は現地の市民団体リンクス高麗川の新（あたらし）達也代表にさせていただく。参加者は21名。

最初に案内看板のあるところで全体の整備計画と現在位置を説明していただく。



続いて整備現場に向かう。工事担当会社の山口組の車が入り口にあり、お礼する。



写真は深い淵があるお蔵ぶちというところ。この下流は、大きな河畔林の木があるため、市民団体の要求で整備されずそのままとなった。

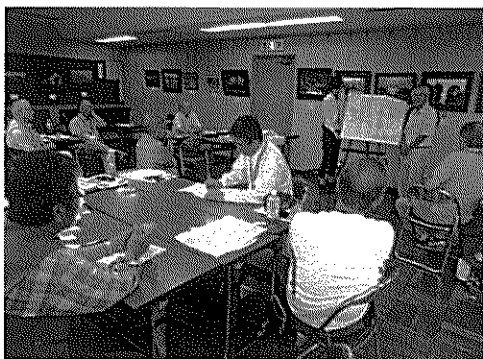


上流に向かい歩く。新しく整備された散策路を歩く

午前11時半頃、公民館に戻り、「行政の計画と市民の意向」というテーマで話し合うこととした。つまり、行政の計画と市民の意向は異なる場合がある。その違いは今後も発生する可能性が高い。そのような場合、どうしたら市民の意向を伝え、それを整備計画の中に反映していくかを話し合っていくこととした。急遽決まったテーマで、その場で二人に話してもらおう。

日高市高麗川のまると再生計画については、リンクス高麗川代表の新さん。「知ったのは明日から工事が始まると聞いた2015年6月頃。寝耳に水であった。素晴らしい溪谷にコンクリートの散策路はあるのかと悩んだ。しかしいろいろ動いた結果、担当の飯能県土整備事務所と話し合い、最終会の高麗川まると再生市民会議に参加でき、一部の区間では整備しないとなった」と報告した。さらに和田吉野川で多自然川づくりを整備中であるが、その整備に関し、担当の熊谷県土整備事務所と話し合いながら進めている熊谷の環境を考える連絡協議会（埴河連代表委員）の町田直昭さんに話していただいた。

午後1時から3時まで3ブロックにわかれ、参加者の自己紹介と高麗川の整備計画について、行政との対応などを話し合った。3ブロックは、新さん、町田さん、さらに比企の川づくり協議会の渡辺仁さんが班長となり、進行した。その後、3班の検討結果を報告した。

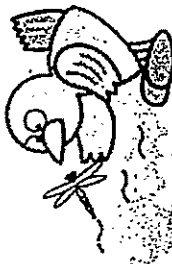


# 集計・提出シート

## 五感による河川環境指標～川の好感度チェック～

- ・皆さんの結果を集めて、調査地点をどのように評価しているのか確認してみよう。
- ・このシートを埼玉県水環境課までFAX (048-830-4773) でお送りください。県ホームページに掲載させて頂きます！

内容の確認をさせていただく場合がありますので、記入をお願いします。



埼玉県のマスコット「コバトン」

記入者  
電話番号

調査団体名	川の形成地域交流会	調査年月	平成28年7月	調査人数	17人
調査対象 河川等	河川等名称 高麗川 日高市巾着田付近	調査地点*			

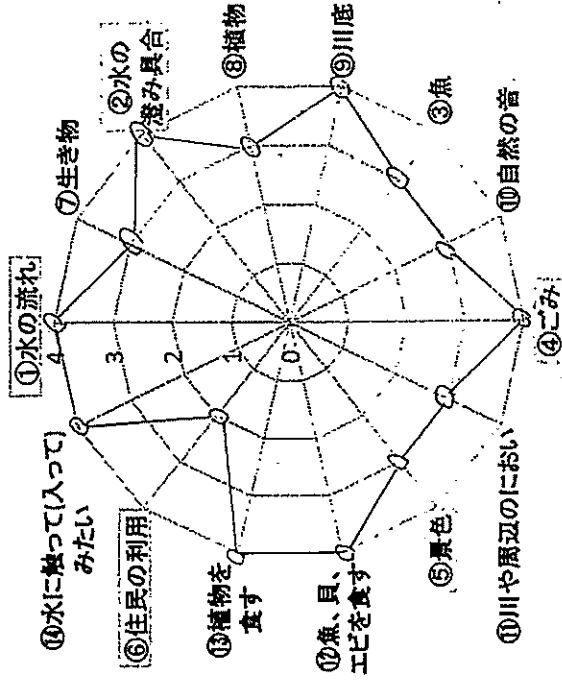
※ ○○市△△橋付近など、調査地点付近の情報に記載してください。

複数ある場合は、数字の大きい方を記入してください。  
(例)「4」が1人、「3」が8人、「2」が8人、「1」が0人  
→「3」と「2」が最も多いので、数字の大きい「3」を記入。

・「最も人数が多かった評価」でグラフを作成してください。

・このグラフが「調査地点での団体の評価」です。

質問	「4」を選んだ人数	「3」を選んだ人数	「2」を選んだ人数	「1」を選んだ人数	最も人数が多かった評価
①水の流れ	6人	3人	1人	0人	4番
②水の澄み具合	6人	3人	0人	0人	4番
③魚	0人	10人	5人	0人	3番
④ごみ	5人	4人	0人	0人	4番
⑤景色	4人	5人	0人	0人	3番
⑥住民の利用	1人	2人	12人	0人	2番
⑦生き物	0人	9人	5人	0人	3番
⑧植物	0人	12人	5人	0人	3番
⑨川底	7人	5人	4人	0人	4番
⑩自然の音	2人	10人	0人	0人	3番
⑪川や周辺において	5人	10人	1人	0人	3番
⑫魚、貝、エビを食す	4人	4人	0人	1人	4番
⑬植物を食す	9人	1人	1人	0人	4番
⑭水に触ってみたい	8人	7人	1人	0人	4番



一言コメントをお願いします！



### 3. 28年度 地域交流会を終えて 埼玉県河川環境団体連絡協議会 大石 昌男

今年度も、埼玉連が企画した4ヶ所と土地水政策課が企画した下久保ダム（今年14回目）で実施されました。各実行委員会の報告をもとにして、この報告書を編集印刷しました。また来年度の計画をそれぞれの地域で検討するに当たり、参考にさせていただきたいと思います。計画・実行に当たった4ヶ所の実行委員会と協力していただいた関係者のみなさまにお礼申し上げます。

#### ◇6月14日 所沢市・清瀬市（東京都）、柳瀬川と空堀川の合流地点

実行に当たった清瀬市川づくりの会は計画、スタッフ、プログラム下見とよく検討されていました。県、東京都が合流点の大改修事業を行う事例は少なく、よい学習になりました。残念ながら所沢市側のNPOが参加できなかった点は埼玉連の力不足であったことお詫びいたします。

参加者37名

#### ◇6月24日 リーダー研修会 熊谷市荒川公民館

若い新しい人材を育てる目的だが、なかなかうまくはゆかない。リーダー研修会とは、ネーミングが悪い。例えば「新しい活動スタイル、市民活動をみつめる」こんなアイデアはどうでしょう。良い案を探してください。こんな意見の中から、大学生のサークル交流会の案があって、8月8日に県庁内で準備会が行われました。

参加者21名

#### ◇7月2日 杉戸町 南側用水路

実行は南側用水路清流プロジェクトでした。古い用水、使われなくなった用水をまちづくりによみがえらせる取り組みは県内ではめずらしい。新しい発想と行政との協力のあり方がよくかみ合う活動は大いに参考になった。地元の参加者が多かったのは、活動が住民に溶け込んでいる実績でもある。交流会では、活動発表、行政の講義が主になっており、参加者の交流がうすくなってしまった。

参加者61名

#### ◇7月9日 日高市 高麗川 実行は埼玉連

埼玉県が誇る水質ランキング第一位のBODはこの高麗川です。県が推進した川の再生まると事業がすすんでいる。我々が求める川の再生事業とは大きくかけはなれた事業になっているが、地元の要望を基にした事業でしっかりした検証が必要であろう。参加者21名

#### ◇8月8日 学生環境サークル交流会 準備会 県本庁舎111会議室

出席者は法政大学と獨協大学の2校。埼玉連側からは8名、県水環3名。県内に多くの大学があり、環境に関わる活動をしている。ぜひ交流会を実現したいとの意見交換をしました。

## 「水のふるさと応援団事業（下久保ダム見学）」に参加して

埼玉県河川環境団体連絡協議会 大石 昌男

水のふるさと応援団は、埼玉県が主催し、下流地域の住民や水道関係者が水源地を訪ね、清掃活動やダム施設見学を通じて水源地域を取り巻く現状・問題について理解を深めることを目的とした事業です。

現地へのバス車中では参加者の活動報告が行われ、継続して活動することの大切さや難しさを認識することができました。

目的地の1つである下久保ダムは、東京オリンピック渇水をはじめとする昭和30年代の水需要が逼迫した状況を改善するため、昭和43年に完成したダムです。完成から半世紀を経過しようとしています、いまなお埼玉県民の貴重な水源として重要な役割を担っています。

下久保ダムでは、地元の埼玉県神川町、群馬県藤岡市で活動している神流川ビジョン協議会をはじめ、参加メンバーとともに清掃活動や交流会を実施しました。

水のふるさと応援団はダム左岸の約1kmで清掃活動を実施。交流会は水資源機構のダム管理棟駐車場にて実施。お昼には郷土料理の「おっきりこみ」が振る舞われ、お腹が満たされました。

その後、ダムの説明を受けて現場見学を実施。ダム内部の監査廊（通路）を見学しました。当日は珍しくダムから放流中。ダムの下流側に出ると放流の様子を間近に見ることができました。

水のふるさと応援団は毎年5月の最終日曜日に開催されます。皆さん参加してはいかがでしょうか。

1. 開催日 平成28年5月29日（日）

2. 行程概要 全行程バス利用

8:10	熊谷駅南口（集合）
10:00～11:00	神流湖周辺清掃活動
11:00～12:15	交流会（昼食）
12:15～13:30	下久保ダム見学
15:10～16:00	六堰頭首工見学
16:30	熊谷駅南口（解散）

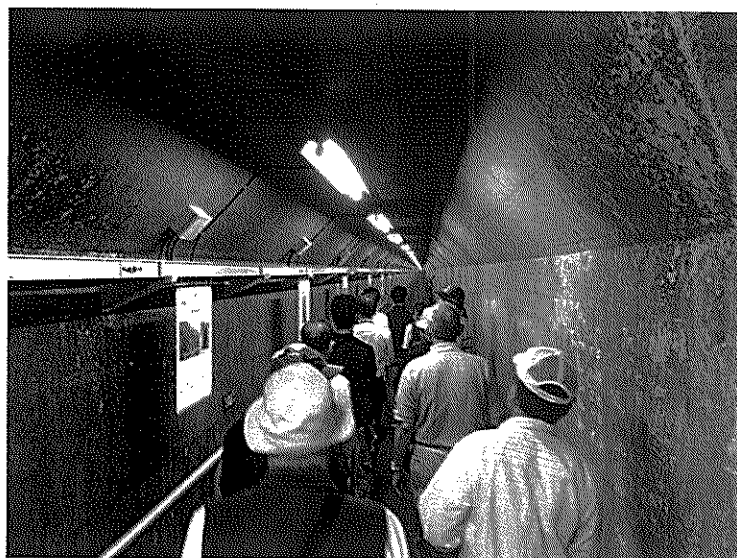
3. 参加者 189名

（内訳）水のふるさと応援団	48名
（バス37名、現地集合11名）	
地元のみなさん	141名

清掃活動状況



ダム見学の様子



参加者集合写真



